

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第40週（令和6年9月30日～令和6年10月6日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- 第40週は、今年1例目のレプトスピラ症の報告がありました。本疾患は、病原性レプトスピラを保菌するネズミ等の動物の尿に汚染された水や土壌から、皮膚の傷などを介して、または経口的に感染します。潜伏期間は3～14日で、風邪の様な症状のみで軽快することもあります。黄疸、出血、腎障害など重症化することもあります。河川でのレジャーによる発生が増加していますので、傷があるときは川に入らない、川に入る際はケガをしないよう皮膚を覆う等が大切です。また、増水している場合や、水が濁っている場合には、水の中に入らないようにしましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	11	679	201	11,268
腸管出血性大腸菌感染症	1	128	116	2,753
A型肝炎	1	9	2	114
レジオネラ症	1	52	36	1,703
レプトスピラ症	1	1	6	28
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	99	35	1,597
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5	2	119
後天性免疫不全症候群	2	45	16	738
侵襲性肺炎球菌感染症	3	81	25	1,816
梅毒	10	654	195	10,766
百日咳	5	94	93	1,825

## ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	313	1.58	0.84	17,674	3.58
インフルエンザ	90	0.45	0.85	3,124	0.63
RSウイルス感染症	28	0.23	0.85	1,153	0.37
咽頭結膜熱	29	0.24	1.71	717	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	537	4.48	1.12	5,141	1.64
感染性胃腸炎	408	3.40	1.12	7,391	2.35
水痘	34	0.28	1.06	401	0.13
手足口病（警報レベル）	912	7.60	1.17	25,493	8.12
伝染性紅斑	3	0.03	0.60	583	0.19
突発性発しん	42	0.35	1.08	771	0.25
ヘルパンギーナ	44	0.37	1.10	1,218	0.39
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.40	133	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	9	0.35	1.80	287	0.41
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	18	1.20	0.90	788	1.64
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。

# レプトスピラ症に注意しましょう

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラという細菌によって引き起こされる感染症です。河川での遊泳やレジャーの際に感染することが多く、福岡県内でも川で泳いだ後にレプトスピラ症を発症した事例が見つかっています。



## 症状

感染してから5～15日後に、発熱、頭痛、筋肉痛、目の充血などの症状が現れます。重症化すると黄疸や腎不全などの症状が出ることもあります。

## 感染経路

病原性レプトスピラに汚染された水や土壌と接触したり、汚染された水を飲んだりして感染します。河川での遊泳やレジャー以外にも、農作業や洪水後の作業の際に感染することがあります。

## 予防方法



皮膚に傷がある時は川に入らない



川や土壌に入るときは皮膚を露出しない



川の水を飲まない



雨などで増水しているときは川に入らない

河川での遊水・レジャーの後、2週間以内に上記のような症状が現れた場合は、**医療機関を受診・相談**してください。



詳細な情報は県ホームページをご覧ください。

福岡県 レプトスピラ症

検索